

ひとりひとりひかる

きぼう

2002 11/26
増刊号

発行: かしの木の家/かしの木の家 尾西市富田字砂原 2147: kasisato@f7.dion.ne.jp
・ 檜の木園: kasien@k3.dion.ne.jp ・ 檜の木作業所: kasisyo@k2.dion.ne.jp
かしの木 ホームページ <http://www.h3.dion.ne.jp/~kst/>



▲ 第3回かしの木フェスティバルでのボランティアの活躍。



第3回かしの木フェスティバルでは、テント26張り、机76脚、イス200脚用意いたしましたが、その多くが市役所や近隣の学校でお借りした大切なもの。

写真は2000人の集いの後の片付けの光景。とりわけ多数の高校生ボランティアの活躍が加わり、次々と片付けられ、笑顔が光った。同じ街で住む者同士、どこかで手をつなぎ合いたい。

【増刊号 きぼうの目次】

表紙 写真 目次 P. 1
第3回かしの木フェスティバルを終えて P. 2
暖かい眼差しと笑顔に感謝 P.3~5
ありがとうと言ってもらってうれしかった	P.6~8
アンケート紹介 P. 9
第3回かしの木フェスティバル 収支報告 P. 10



やさしさ
地域に広がれ

第3回かしの木フェスティバルを終えて

さる11月10日(日)は前日の冷たい雨もあがり、時折日が差してくる風のない天候に恵まれました。第3回かしの木フェスティバル(かしの木の会・榎の木福祉会共催)は、お陰をもちまして、2000余名もの市民の皆様の集いにいただき、大盛況なものになりました。

このフェスティバルでボランティアの活躍は110名に達し、近隣の高校生のボランティアさんの参加が増え始めております。出演の方では、地元の第一中学校のプラスバンド演奏はじめ幾つかの同好会の出演を得ることができました。模擬店では近隣社

会福祉施設・団体16店舗含め33店舗になり、フリーマーケットの応募者も多く28店舗になりました。今回このように盛り上がりましたのも、皆様方関係各位のいろいろな協賛・協力・ご支援・ご厚意の数々の賜であると喜んでおります。そしてなによりもご来場頂いた市民の皆様の温かい眼差しと笑顔に感謝致しております。第3回かしの木フェスティバルのテーマにあります、「この街で誰もが自分らしくあったかく生きていけるように」にまた一步あゆむことが出来たと思います。

(かしの木の会長 堀江 昭夫)



▲ 琉球エイサーの舞踏に観客が見入る。感動した。

♪ 温かい眼差しと笑顔に感謝 ♪

第3回かしの木フェスティバルは予想を遥かに超える約2000人もの方々にご来場していただき誠にありがとうございました。皆様のご協力のもと大盛況に終えることができました。

さて私たちが今回このフェスティバルを企画するにあたってまず行ったことは今年のテーマを決めることでありました。かしの木フェスティバルでいちばん大事なこと、いちばん大切なことをそれぞれが意見を出し合いました。このフェスティバルがたくさんの人との出逢いの場になれば、そしてそのひとつひとつの出逢いがつながってゆき、みんなが支えあっていけるようにと願い、「～この街で、誰もが自分らしくあったかく生きていけるように～」というテーマ

が生まれました。

今回、このテーマに伴い多数の来場者の方々、ボランティア、出店者のみなさまと出逢うことができました。この出逢いのひとつひとつが確実につながっていくことこそが大切であると考えています。そのことがいずれこの街で、誰もが自分らしくあったかく生きていけるようにと、つながっていくのであると私たちは考えています。

第3回かしの木フェスティバル開催にあたっては多数のご協力、本当にありがとうございました。第4回にて再び会えることを信じて、よりこの街が豊かで、住みよい街になりますように。

かしの木フェスティバル実行委員長 鷲尾 康仁

フォークダンスで出来た大きな輪

今年のフェスティバルは、心配されていた天候も何とか持ち直し、グランドの状態は良いとは言えませんでした。どうにか行える状況でした。そのようなコンディションの中、2,000人もの方に参加して頂き、盛大に行えたのではないかとおもっています。当日は私達の不手際により至らない点もありましたが、『この街で誰もが自分らしくあったかく生きていけるように』を大きなテーマとして行うことができたと思

います。

いくつかあるステージでの企画の中でも、今回始めて行ったフォークダンスがとても印象に残っています。「来場して頂いた方に少しでも参加して頂き、楽しんで帰ってもらおう。」そして「知らない人とも交流し楽しめる企画はないだろうか。」と考えぬいて企画したものでした。小さなお子さんにも興味を持って頂けるように“応援ジャッシー”や会員の方の仮装による誘導、大人

の方でも楽しめる輪ゴムを使ったプレゼントなど様々な工夫をしました。初めての企画に一体どれぐらいの方が参加して頂けるのか、期待と不安がある中当日をむかえました。当日は、予想をはるかに超えた多くの参加者のため、輪ゴムや景品が足りないなどのハプニングはありましたが、参加された皆さんの笑顔がたくさん見られたことを嬉しく思っています。フォークダンスでできた大きな輪が、これからのかしの木と地域を結ぶ大きな輪となっていくのではないかと思います。この企画が成功できたのも参加された方はもちろん、スタッフとして共に頑張ってくれたボランティアの方、かしの木の会員、職員の御協力のおかげと思っています。ありがとうございました。

今年のテーマであった『この街で誰もが自分らしくあったかく生きていけるように』はこれからもかしの木の目指すものの1つとなっていくのではないのでしょうか。たくさんの方の御協力、御支援を受け第3回となりましたかしの木フェスティバルで得たものを生かしつつ、来年のフェスティバルにつなげていきたいと思えます。また来年もフェスティバルでたくさんの方の参加と笑顔をお待ちしております。

最後に今回のフェスティバルで実行委員として参加でき嬉しく思います。ご来場して頂いた方々、ボランティアの方、会員スタッフの皆さん、ありがとうございました。

実行委員 鈴木 千鶴子



尾西市ボランティアグループ行事応援団さくら組。

売り上げは、かしの木に寄附されました。

おいしい模擬店めざして

今年でかしの木フェスティバルも3回を迎え、また無事終わることが出来大変うれしく思っております。

さて、フェスティバルでは、ステージイベント、体験コーナー、喫茶コーナーなどありましたが、模擬店の様子についてご報告します。

今回、模擬店を運営するにあたり、運営委員会のお母さん方と準備を進めてきました。その中で「お客さんにおいしいものを食べてもらいたい。」この気持ちを特に大切にして、準備、仕込みを行いました。

そして当日、販売開始になるその間、お客さんは来てくれるのか、美味しいと言われるのか、など皆さん期待と不安の気持ちで一杯の様子でした。

いよいよ販売開始、始めは、照れなども

あり呼び込みも小さい声でした。しかしお母さん方の美味しいものを食べてもらいたいと言う気持ち、またボランティアさんの頑張るって売ろうと言う気持ちが一体となり、だんだんと声が出てきました。するとお客さんも一人また一人来て迎りが大変活気に満ちた空間になりました。

ところが模擬店の中には、焼くのに時間がかかり長蛇の列になったり、逆に早々に完売してしまう店も出て、休日をゆっくり楽しく過ごそうとされた市民の皆様の一部ご迷惑をお掛けしたことになったと反省しております。

今年の成果や反省を生かして、また来年も皆さんが一体となれるそんな模擬店ができたらとおもいました。

実行委員 大川哲弥



みたらシダゴ。懸命に焼いたのですが、火が弱く待たせてごめんなさい。

「ありがとう」と言ってもらってうれしかった。

ボランティアさん参加 総勢110名!

第3回かしの木フェスティバルが11月10日(日)に富田山にて行われ、総勢110名の方々がボランティアとしてこのイベントに参加していただくことができ、賑やかに終了することが出来ました。

去る11月10日(日)に尾西市内かしの木の里隣の富田山グラウンドにて、第3回かしの木フェスティバルが盛大に行われました。テーマは「～この街で 誰もが自分らしく生きていけるように～」でした。

「障害」があってもなくても、この地域で住む全ての人達が生きていく過程の中で、楽しい思い出や、豊かな経験、そしてすてきな出会いに満ちていたなら、そして、支えあうことが出来たならば、今以上の素晴らしい街になるのではないか、いや、そういう街を作っていかなければならないという想いがこのテーマの意味です。そのためにも、できるだけたくさんの方々との出会いとご協力を得ようと考え、その一つとしてボランティアとしての参加を広く呼びかけました。お盆休みに入る前から、かしの木の会のボランティア委員会の会議のなかでどこに、どんなふうに、募集をすればよいのかを話し合ったり、市内や近隣の高校、短大、大学や各種団体に募集のチラシを持っていくために、分担を決めました。その他にも尾西市を中心に広くボランティアさんを募集するチラシを配りました。そして、本番の11月10日までに何度も打ち合わ

せの会議を持ちました。その時のボランティア委員会のメンバーの気持ちとして、フェスティバルを成功させることは当然ありましたが、それ以上に、来年も「ボランティアをしたいなあ」と思ってもらえるものにしたいという気持ちのほうが強かったように思います。

今年も尾西市社会福祉協議会様を通じて尾西市ボランティア連絡会に所属する方々や尾西高校様、木曾川高校様、起工業高校様からは毎年多くの方々のご協力を得ることができました。また、チラシを見て、個人やグループで参加していただき、当日にはボランティアさんが110名で、前日の会場設置のボランティアさんの人数も含めると117名というたくさんの方々のご協力を得ることができました。今回は、子ども発達センターすぎのこ教室から親子でボランティアとして参加していただき、ボランティアさんの幅やかしの木フェスティバルの広がりに一役買っていただき感謝の気持ちと同時に嬉しさもいっぱいでした。

さて、ボランティア委員会の大きな目標である、来年も来々となるフェスティバルを実現するために、昨年からボランティア

の皆様に対してアンケート調査をさせていただきました。当日参加110名の方々に
お配りし、回収数は65枚で約59%でした。アンケートのご協力ありがとうございます

Q1 昼食等、休憩はとれましたか？

この質問についてはほとんどの方が取れたようですが、利用者の方との買い物等にお付き合
いして下さっていたボランティアさんは休憩の区切りがはっきりしていな
かったようです。

Q2 かしの木フェスティバルはどうでしたか。改善するところがあれば、どんなところを改善すればよいと思いますか？

この質問に対してはたくさんのご意見をいただきました。「良かった」「楽しかった」という結果が多かったようです。しかし、駐車場関係や会場内整備関係については色々改善点があるようです。一部ご紹介します。

- ・ 「駐車場係の人数をもっと多くした方が良い」
- ・ 「マイクの音が小さく来賓の方の話の内容がわからなかった」
- ・ 「会場内の椅子の数を増やして欲しい」
- ・ 「駐車場と施設までの案内板をもっと増やして欲しい」
- ・ 「食べ物が売り切れになってしまったので考えて欲しい」
- ・ 「じゃんけんメダルゲームは知らない人とも話せてよかった」
- ・ 「もっと盛り上がるステージを増やす。」

ました。アンケート結果で知り得るボランティアの方々の気持ちや様子を是非ご紹介したいと思います。

- ・ 「とても盛り上がり楽しかった」
- ・ 「いろいろな店があってよかった」
- ・ 「できあがったものをお客さんに手渡すとき大きな声で「ありがとう」と言ってくれて嬉しかった」

Q3 次回、ボランティアをするときはどんな模擬店等にはいきたいですか？

模擬店をやりたいというご意見と利用者の方とのお付き合いをしたい等いろいろあり、「なんでもやる」というご意見も多かったようです。

Q4 今回、ボランティアさんに対するスタッフの対応はいかがでしたか？気になることがあれば遠慮なく書いてください。

- ・ 「特にない」
- ・ 「親切にしてくれた」
- ・ 「通りすぎる時の挨拶が気持ちよかったです」
- ・ 「何をしてよいのか分からなかった」
- ・ 「後片付けの時、何処に動けばよいのか分からなかった。指示をもっと早く出して欲しかった。」

ボランティア委員会で話し合い、気をつけていた部分は良い評価をいただき、心配はしていたが特別に案を出さなかった部分は改善点としてご意見をいただきました。

以上、うまくまとめることができませんでしたが当日の部署によっていろいろな意見が出たと思います。今後、このアンケートを生かしながら檜の木に足を運びたいと思います。今回、準備や当日にボランティアにきていただき

ありがとうございました。また、募集のチラシを持参し募集のお願いにお邪魔したときに快く対応していただきました各団体の方には頭の下がる思いでした。本当にありがとうございました。

ボランティア委員 武田信之



循環型社会とは、ものを大切に使い、使い終わったものでも、もう一度使えるようにしていく社会のことで、使ったものがまた使えるようになれば、ごみにはならないし、限りある資源も失われずにすみます。

→ リサイクルコーナーで
分別のボランティア
(すぎの子教室の親子)



↑ 楽しかった喫茶。
かしの木のひとと共に過ごして、ボランティアとしての交流の時間が流れた。

～アンケート紹介～

第3回かしの木フェスティバルにご来場していただいた方々に、アンケートのご協力をいただきました。今後のかしの木フェスティバルの参考にさせていただきます。一部紹介させていただきます。

- ・舞台の出し物など、趣向が凝らされていて大変良かったと思います。
- ・大変良かったと思います。アットホーム的な所がありおもしろかったです。
- ・子供達と共に楽しめました。ありがとうございました。
- ・全体的に明るい雰囲気良かったですと思います。しいて言えば、朝の受付の手順を段取りよくしてもらえると助かります。

一般参加者

- ・たくさん売れてよかったです。また来年も出たいとおもいます！
- ・いつも呼んでいただきありがとうございます。今年は、また一段とステージでの出し物も充実していたと思います。また来年も呼んで下さい。
- ・寒い中お疲れ様でした。たくさんのお店、絶えることのない出し物、一日中楽しむことができました。ジャンケンをしてメダルを取り合ったり、パンフレットに付いていた抽選番号に合わせた抽選。来ている人、全ての人が会に参加できるようになっていたことは、良い企画だったように思えます。施設(かしの木の里内)に貼られた写真なども、工夫されており、普段のかしの木さんの様子も知ることができました。来年も来たいです。
- ・今回、ポップコーンをやりましたが、電圧が低く、使えませんでした。次回はよろしくお願いします。ステージは、いろいろみなさんで工夫されとても盛り上がっていたと思います。
- ・今年は、予定していた以上の売り上げがあり、用意した商品が早々と完売してしまいました。地域の方々に「昼ごはんは“かしの木で””というような意識が定着してきているように感じました。また、来年も楽しいお祭り期待します。

社会福祉施設・団体

- ・何度も電話でいろいろ聞きましたのですが、とても親切に対応してくださいました。本当に助かりました。どうもありがとうございました。
- ・イベント内容も楽しく、模擬店も良かったと思います。場所も広く立ち寄りやすかったです。お客様も快かったです。
- ・大勢の人でうれしい悲鳴でした。ありがとうございました。
- ・フリマの売り上げは中々好調でした。もうちょっと時間が長かったらよかったです。
- ・寒い一日でしたが、盛大なフェスティバルで楽しませていただきました。フリーマーケットの出店なのでアトラクションなどは、見ることはできませんでしたが、ありがとうございました。

フリーマーケット

第3回かしの木フェスティバルありがとう

第3回かしの木フェスティバル(11月10日開催)に、ご支援ご協力ありがとうございました。

☆第3回かしの木フェスティバルのご協力者数

- 協賛協力業者 58件
- ボランティア協力者 110名
- バザー一等出店施設・団体 43軒
- 当日来場者 約1,800名
- 当日参加者総勢 約2,000名



☆第3回かしの木フェスティバル収支報告

支 出	収 入
○ 事業費 953,941円	○ 協賛金収入 402,000円 (58件)
○ 模擬店材料費 191,014円	○ 協賛物品収入 25,000円 (4件)
○ バザー材料費等 528,478円	○ 負担金収入 250,000円 (5件)
○ 次期繰越金 195,206円	○ 模擬店収入 514,860円 (11店舗)
	○ バザー収入 523,417円(他施設除く)
	○ その他の収入 153,362円(来賓ご祝儀等)
支出の合計 1,868,639円	収入の合計 1,868,639円

なお、次期繰越金は、かしの木の将来必要な事業資金として積み立てさせていただきます。当日は、前日からの雨でグラウンドの状態も悪く、寒気の影響で寒い中にも関わらず、多くの市民や関係者のご参加、ご協力とご支援をいただき、昨年引き続き大盛況を納めることができました。

協賛業者等の皆様、ボランティアの皆様、ステージ出演団体等の皆様、バザー出店施設等の皆様、不用品バザーに物品を提供して下さった皆様、テント等資材の無償貸与をして下さった団体の皆様、フリーマーケット参加の皆様、広報活動にご協力を下さった皆様等、献身的なご支援とご協力をいただきまして、大変ありがとうございました。本誌を借りまして厚く御礼をもうしあげます。

地域の人々に支えられ、地域の人々と共に
(かしの木の会 事務局)

かしの木

かしの木の会 事務局 〒494-0018 愛知県尾西市富田字砂原 2147番地 Tel. 0586-63-2111

かしの木の里内 Fax 0586-61-1200

檜の木福祉会☆檜の木作業所 尾西市富田字漆畑1 6番地 Tel/Fax 0586-61-6055/61-6514

☆檜の木園 尾西市富田字若宮1 7番地 Tel/Fax 0586-62-8202/62-8253

☆かしの木の里 尾西市富田字砂原2147番地 Tel/Fax 0586-63-2111/61-1200